

キャリアチャレンジII期 事後報告会 生活クラブ千葉

人間環境学部4年 品川裕香

目次

- 1.私が選んだ社会課題
- 2.生活クラブ千葉での活動内容
- 3.活動の中で印象に残った出来事
- 4.最後に

私が選んだ社会課題

持続可能な組織を作るには??

サステイナブル経営について

- ▶ サステイナブル経営の実現を目指して組織全体が変革に向かうためには、組織の一人ひとりが当事者として行動を起こし、それを継続していくための「動機付け」が必要

→組織一人一人の**当事者意識**、組織を維持していこ
という気持ちが必要

活動の中で印象に残った出来事

①千葉ブロックの運営委員会に参加

→組合員としての**当事者意識**の強さ

②市川センターベイでの配送体験

→組合員との直接の交流によって生まれる**結びつき**

③千葉ブロックで行われている様々な企画

→地域コミュニティの育成や**組合員意識**につながる

①千葉ブロックの運営委員会に参加

組合員である運営委員さんが一つずつ話し合って物事を決めていた

→組合員の生活クラブを自ら作り上げていくのだという**当事者意識**をすごく感じた



②市川センターベイでの配送体験

・班配送と呼ばれる複数人に一斉に配送する取り組み

→**組合員同士の結びつき**が強くなる

・組合員との配送を通してのコミュニケーション

→直接の交流によって生まれる配達員と組合員の**信頼感**



③千葉ブロックで行われている様々な企画

千葉ブロック内での様々な企画

（この日は巣蜜の試食体験）

→生活クラブをさらに利用する**きっかけの向上**
生活クラブを通した**コミュニティの形成**や**組合員意識**につながる



最後に

- ▶ 生活クラブの特徴である安心・安全な消費材
- ▶ 生活クラブを通じたコミュニティの結成
- ▶ 生産者、配送車、消費者の間に生まれる信頼感
- ▶ どんな場面でも、自分たちが主体であることを意識している組合員

→ 「持続可能」な生活協同組合につながる

ご静聴ありがとうございました！

生活クラブ生協と社会問題

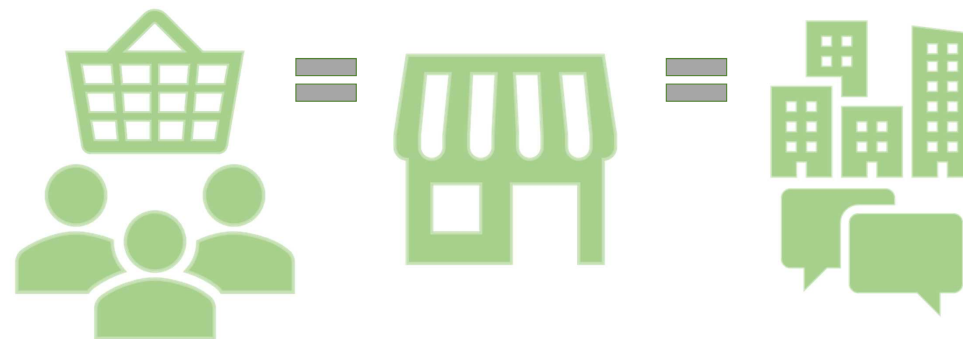


法政大学人間環境学部
18H0707 真子理菜

一人ひとりの
消費

なにを選ぶ
のか

意思表示



消費活動

- ・生産者と消費者間の情報の非対称性
- ・消費者が企業の広告や宣伝で購入する依存効果
- ・大量生産、大量消費型の社会
- ・「安いほど良い」という価値観

消費者が市場において自由に商品を選択することが難しい
考えない消費者の存在（おまかせ社会）

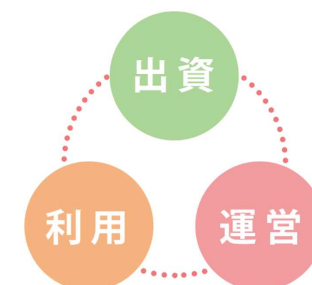
生活クラブの実践

協同組合

自発的に手を結んだ人々が、共通する経済的、社会的、文化的ニーズと願いをかなえることを目的とする**自助組織**

- ・組合員の出資・利用・運営により成り立つ
- ・主役は組合員

個人が意思を持って人々を集めることが出来る
問題提起、解決する手段がある
自分たちで決めて自分たちで実行する
→市民による社会参加、自治につながる



<https://seikatsuclub.coop/about/shikumi.html>

共同購入

物を買う力 / 物を買わない力

消費材の購入は、意思を表現する活動

「消費材を主題として論じ合うことで他者と関係し、
そのことをとおして生活のあり方や自己の生き方を見直す契機を与える」
生産者と組合員間の信頼・共存関係の構築

選んで買うという組合員の意思表示
→ 自立した賢い消費者へ

消費材

生活に必要な材をつくる

目的は、安心できる物を手に入れること

独自の基準でつくるオリジナルのもの

消費材StepUp点検

生活における使用価値の実現

組合員が開発、消費に直接参加しリスクも分担

ものを消費するだけではない
安全なものを求める力



生活クラブの消費材10原則

https://seikatsuclub.coop/about/vision/food_rule.html

食育推進活動

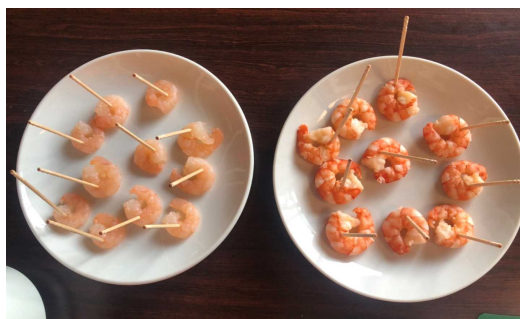
“生活クラブ食育サポーター”が

体験型食育講座を開催

食を個人的行為から社会性を持った行為へ

新しい価値観の形成

食と農と地域をつなぐ「食農共育」



組合員参加のあり方の一つ

生活者に必要なことを提起していく当事者性

需要をいかに高めるかが課題

農業活動「遊び仕事」

市民と農家が共に生産する

農業への新たな意味づけに貢献

年齢問わず自然の中で「生きる知恵」を学ぶ機会

参加を通して多面的な農の価値への気づき

生産する消費者、そして

生産そのものに参加する消費者へ発展



消費は社会的行為であり

消費者の購買力が社会を変えられる

課題

- ・伝統的な生活クラブの形を維持するには、積極的な組合員の存在が不可欠
- ・組合員間の生活クラブの理念への認知度、意識の差がある
- ・組合員同士のつながりの縮小化
- ・人によってほかの組合員におまかせになってしまう
- ・消費材はほぼ揃っているため現状への満足感があり、開発に参加することへのハードルが高い

解決に向けて

生活クラブの活動についていくというよりは
自発的に行動することが大切

社会的な立場関係なく社会に発信ができる、
声を上げられる環境であるということへの自覚

若年層による解決

安全を求めて生活クラブの加入につながる人も多く、
食や環境へのこだわりや情報をもつ若い人は少なくない

若年層も求めているのは安心・安全な生活

生活クラブは意識ある人々と情報交換できる場所

情報交換を通して

- ・同じ意思を持つ人がいるという **安心感**
- ・加入している人に **組合員としての自覚** を植え付けること
- ・組合員同士での仲間作り、呼びかけによる **組合員活動の活発化**

受け身的な消費者からの脱出

安全をかんたんに手に入れる方法として

- ・買うときに考えて選ぶというプロセスにはある程度の知識が必要
- ・そこで消費材から買うことはスーパーで安全なものを探すよりも **手っ取り早い**
- ・加えて知識のある組合員たちの生活クラブへの信頼をアピール

時間のない若年層を取り込める
まずは消費材の購入から、賢い消費者へ



ご清聴ありがとうございました。

私に関心を持った社会の課題

ー健康維持ー

法政大学 人間環境学部人間環境学科 2年 田中俊多

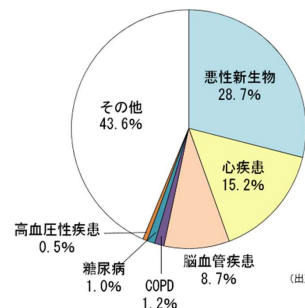
目次

- なぜ健康維持に関心を持ったか
- 生活クラブ神奈川の取り組み（消費材）
- 生活クラブ神奈川の取り組み（地域交流）
- 生活クラブを通じ、「健康維持」への若年層の取り組み方
- まとめ

なぜ「健康維持」に関心をもったか

死因別死亡総数に占める割合（平成27年）

○ 生活習慣病は死亡割合の約6割を占める。



生活習慣を改善することが、健康維持につながる

（出所）「平成27年度人口動態統計」

笑わない人は死亡率2倍 山形大調査

2019/6/25 18:24

保存 共有 印刷 画像の拡大

山形大学医学部は25日、笑う頻度と死亡や病気のリスクを分析した調査結果を発表した。2万人の健診データを収集した山形県コホート研究をもとに分析。ほとんど笑わない人は、よく笑う人に比べて死亡率が約2倍高く、脳卒中など心血管疾患の発症率も高かったという。

対象は山形など7市に住む40歳以上の一般住民で2009～15年に基礎調査を実施。その後、これらの人が17年までに亡くなったり病気になったりした事例を分析した。

4段階に分類した大声を出して笑う頻度は「ほぼ毎日」が36%、「ほとんどない」は3%だった。病気になりやすい年齢や喫煙といった因子を統計的に補正しても、死亡率は2倍の違いがあったという。



画像の拡大

「笑い」の効能について発表する山形大（25日、山形市）

生活クラブ神奈川の取り組み

消費材

無農薬、遺伝子組み換えの農産物を使用しない、などの人体に対して無害である食品の提供をしている。添加物の削減。

地域交流

近所の人や地元の人との交流ができ、外に行けば信頼できる、相談できる人に会え、笑顔になれる環境がある

知らずに食べてる!?「食品添加物」実は…

1人が1年間に食べている食品添加物の量は **4.6kg!**

これは日本で使用されている食品添加物の量から算出した数値です。私たちの食品はスーパーやコンビニの食料の大半は添加物でできています。添加物には危険なものもありますが、ほとんどの食品は安全です。

ハム、ソーセージで避けた食品添加物

亜硝酸ナトリウム (発色剤)  使用時: 発色剤 問題点: 肉や魚のタンパク質と反応して発がん物質、窒素 使用例: ワイン、ハム、ソーセージ、ソーシロ 生活クラブでは 禁止	コチニール色素  使用時: 着色料(赤) 問題点: 原料はインド産の虫から抽出した色素で、アレルギーの原因になる 使用例: 漬物、調味料、加工肉、生菓子など 生活クラブでは 禁止	リン酸塩、重合リン酸塩 (増粘剤、乳化剤、膨張剤)  使用時: 増粘剤、乳化剤、膨張剤 問題点: 腸内環境を悪化させる可能性がある 使用例: 漬物、調味料、加工肉、生菓子など 生活クラブでは 禁止
--	---	--

日本で認められている食品添加物の数は **どんどん増えています。**

その中には、安全性が疑問視されているアスルメウムやカルボネート(着色料)など、海外からの圧力を背景に認可されたものもあります。また、複数の食品添加物を摂取(複合摂取)した場合の影響については、きちんとした検証がなされていません。その観点からは懸念がなされる場合があります。

生活クラブは…
「不要な食品添加物を使わない」という暮らしの考えを追求します。
生活クラブは、ここまで減らしています。

安全性に疑問があるものや使われてもよいものは使わないと決めた食品添加物の使用を可能な限り減らしてきました。

生活クラブでは国が許可している食品添加物 819品目のうち、約90%の使用を減らしています。



食品添加物 うまい話には、ウラがある。

価格が安くて色もきれい。サイズも大きい。そんなハムの裏側を見てみると…

A社(ロスハムスライス) 1kgハム株式会社

原材料: 原材料ロス肉、卵たん白、還元水飴、大豆たん白、食塩、乳たん白、水飴、酵母エキス、リン酸塩(Na)、カルゼインNa、調味料(アミノ酸等)、増粘多糖類、酸化防止剤(ビタミンC)、発色剤(亜硝酸Na)、コチニール色素

B社(ロスハムスライス) 1kgハム株式会社

原材料: 原材料ロス肉、卵たん白、食塩、大豆たん白、餅コラーゲン、調味料(アミノ酸等)、増粘多糖類、カルゼインNa、酸化防止剤(ビタミンC)、発色剤(亜硝酸Na)、コチニール色素、甘味料(アセスルファムK、スクラロース、ネオターム)、香料抽出物

C社(ロスハムスライス) 1kgハム株式会社

原材料: 原材料ロス肉、卵たん白、大豆たん白、還元水飴、砂糖、食塩、餅コラーゲン、調味料(アミノ酸等)、リン酸塩(Na)、増粘多糖類、カルゼインNa(乳由来)、酸化防止剤(ビタミンC)、発色剤(亜硝酸Na)、香料抽出物、コチニール色素

生活クラブ(ロスハムスライス)

原材料: 原材料ロス肉、乳たん白、食塩、砂糖(サトウキビ)、ポークエキス、カンオキス、水あめ(甘糖、黒糖(国産))、香料

市販品の多くはリン酸塩(Na)入りの調味液に漬けて作ります。リン酸塩は水分を内部に包み込むので肉の重量が水増しされ、大きいサイズのハムが作れます。

配送業務体験の際の車



汚れが付いている卵



生活クラブを通じ、「健康維持」への若年層の取り組み方

- 若年層では、生活クラブを定期利用すると経済的負担が大きい人が多い

- **消費材**

コンビニやスーパーで買い物をする際に、商品の裏側に記載されている原材料を見える

→知らないものを調べてみる、発がん性物質が入っていたり、人体に害のある物資がある可能性

→「知らない」ことよりも情報を「知り」、判断する

- **地域交流**

月300円で交流ができる（月300円の負担で生活クラブに加入でき、エコロ共済を活用して交流できる）

エッコロ共済 100円

コモンズ運営費 100円（地域によって異なる）

雑誌（生活クラブの発行する情報誌） 100円

※配送の仕方を班配送にする、デポ組合員になることで、個別配送（月に2000円以上の購入をしないと個別システム手数料100円がかかる）より出費が抑えられる

→消費財を頼まなくて経費はかからない

まとめ

- 消費材と地域交流を使って健康維持をはかる
- 消費材には人体に無害な原料が使われている
- 地域交流では、エコロ共済によって自分にあった講座を探すことができる
- 健康な食生活と多くの笑顔を作ることで「健康維持」につながる



生活クラブから考える社会問題

法政大学/3年/人間環境学部/18h0914 / 大塚朱莉

はじめに

→今回私が参加させていただいたのは生活クラブ埼玉です。

活動内容	
1日目	生活クラブの活動内容ガイダンス
2日目	配達センター（越谷）にて業務体験
3日目	ビラ配り、食育実験、業務見学
4日目	三富ライフファームにて農業体験
5日目	食育講座、川口ブロック会議見学
6日目	生活クラブ連合会にて職員研修見学（食糧問題）

貴重な体験をありがとうございました。



目次

・私が取り上げたい社会問題 = 「女性の健康」

(1)何故関心を持ったのか？

→ 4 - 5

(2)「女性の健康」について生活クラブの実践を評価

→ 6 - 15

(3)「女性の健康」を若年層がどのように生活クラブをツールとして解決できるか

→ 16 - 17



1-1 何故関心をもったか

- ・私自身が女性である。
- ・生活クラブの組合員の大多数が女性である。
- ・母が40代の若さで亡くなったこと。
(死因は癌、食生活とストレスが原因？)

女性が健康である社会

= 健康な赤ちゃんを産むことができる

= 社会の重要な労働力としても役割を果たす



1-2 何故関心をもったか

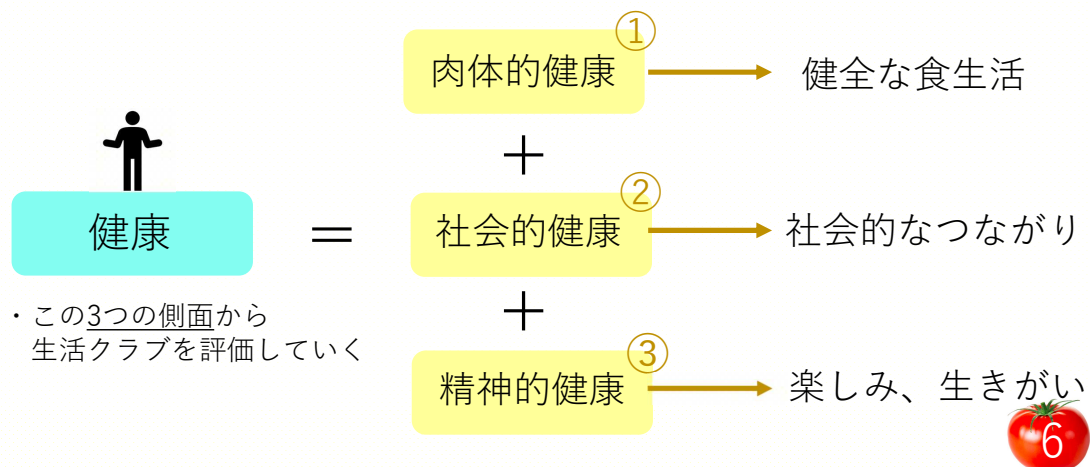
日本人の平均寿命は男性が81.25歳、女性が87.32歳（平成30年）
健康寿命は男性が72.14歳、女性が74.79歳

= 寝たきり期間が世界で1番長い国
= 男性で9年、女性で12年他者の支援が必要な期間がある。

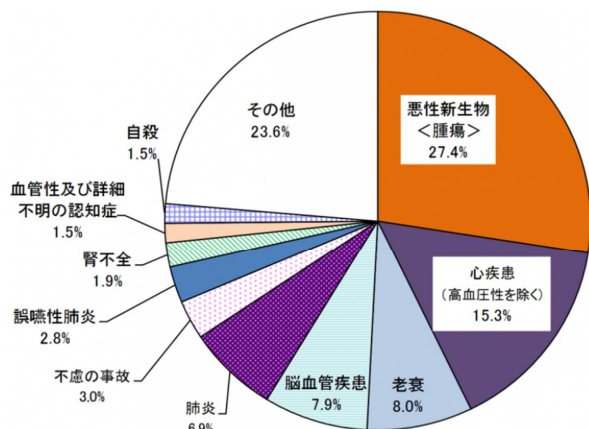
日本のかさむ医療費、介護費用を減らすには
健康寿命を伸ばす必要があるのでは？
= 「健康」は社会で考えるべきテーマなのでは？



2-1 生活クラブの実践を評価



2-2-1 生活クラブの実践を評価



日本人の死因で多いのは
悪性新生物（癌）と心疾患

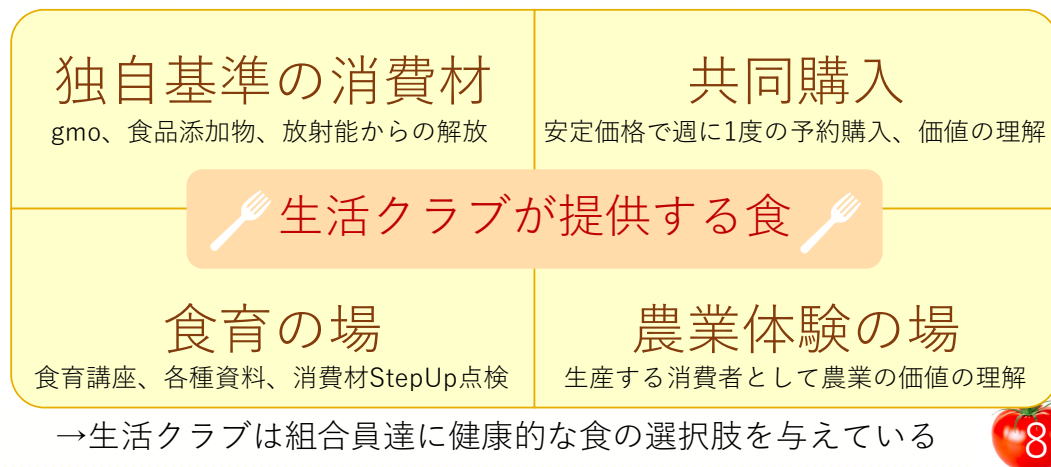
→ 両方とも生活習慣病
→ **食生活**が大きく関わる

図1 日本人の死因順位

出典：厚生労働省「平成30年(2018)人口動態統計月報年計(概況)」 <https://womanslabo.com/news-20170405-1>

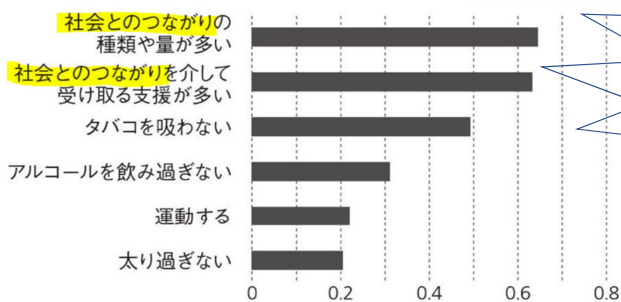


2-2-2 生活クラブの実践を評価



2-3-1 生活クラブの実践を評価

表1 ライフスタイル別の長寿への影響の比較



数字は、死亡率の低さに与える影響の大きさを表す。
ゼロの場合、影響がないことを意味する。

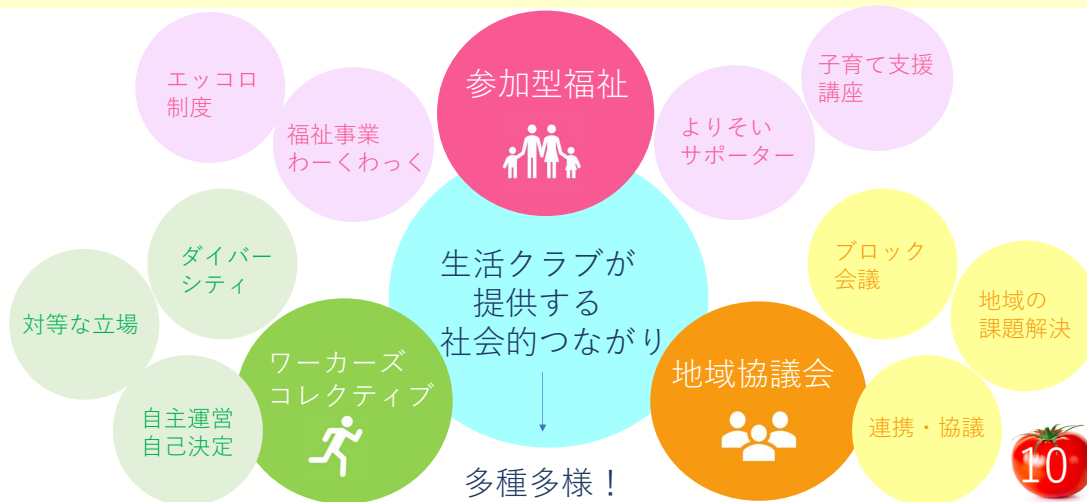
出典: Holt-Lunstad J, Smith TB, Layton JB. Social relationships and mortality risk: A meta-analytic review. PLoS Medicine 2010; 7(7): e1000316. (論文より筆者が図を作成) <https://toyokeizai.net/articles/-/222178>

社会的なつながりの有無は健康を左右する

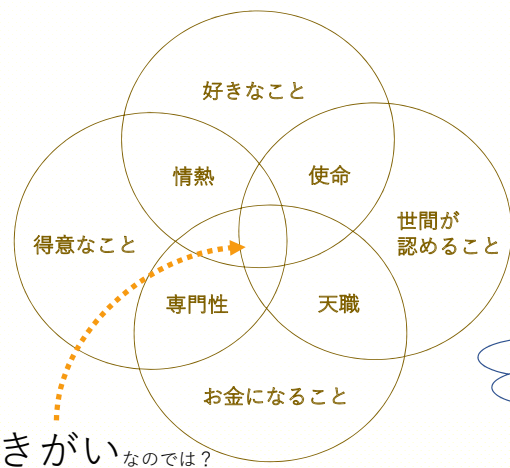
特に近年は家族・職場・地域における人間関係が希薄になりがち。高齢者、ひとり親家庭、専業主婦層には支援が必要??



2-3-2 生活クラブの実践を評価



2-4-1 生活クラブの実践を評価



精神的健康

= 薬やサプリメントでどうにかなるものでない

= 自分自身の生きがいを見つけることが大切

生活クラブは生きがいを提供する場所になるのか?



2-4-2 生活クラブの実践を評価

生活クラブ生協埼玉 食育サポーターmintさん

- 生活クラブ独自の資格
- 食に関する専門知識を先生として学校などで講演

m meet (出合いを大切に)
i information (情報提案)
n network (仲間作り)
t table (食育は食卓から)



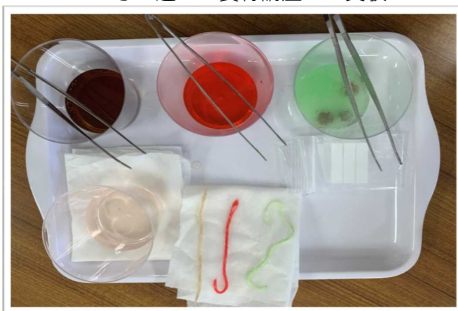
(今回私達は添加物と出汁の勉強をしました。)

メンバーのみなさんは元組合員
現在は臨時職員に!



2-4-3 生活クラブの実践を評価

mintさん達との食育講座での実験



頂いたワークスコープ旬さんのお弁当



生活クラブを通して専門知識を学び、働いている奥様方は皆さんとても楽しそうでイキイキとしていらっしゃいました。



2-5-1 生活クラブの実践を評価

生活クラブは組合員達に

①肉体的健康 ②社会的健康 ③精神的健康
を提供する場所として機能していると感じた。

しかし、共働き世代が増えて班活動もほぼなくなり組合員の高齢化が進む現代。若者世代の参加が進まないと同質的な考えしか生まれず生活クラブの現在の多様性、文化が失われてしまうことが今後の課題だと感じた。…(1)

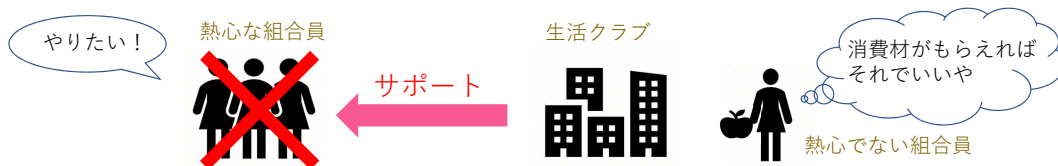
片親の人、相談できる人が周りにいない人など現代も孤独感やストレスを抱える女性は多いはず。＝生活クラブの需要はあるはず

◎こういう立場の若い世代をいかに取り込むか？



2-5-2 生活クラブの実践を評価

熱心な組合員とそうでない組合員の温度差をどのようにして埋めるかという課題…(2)



自分たちで運営、利用する組織なのにこのままでは生活クラブが主体になってしまう。

→肉体的健康は維持できるが社会的健康、精神的健康は提供できない。

◎意志ある組合員の育成をどのように行うのか？



3-1-1 若年層が解決するために

(1)まだ組合員でない若年層はどうすればいいのか
→まずは肉体的健康をめざす

若い世代が知識を得ること

食育

+

価値を理解すること
消費材の理解

安くておいしければ良いという若年層は多い。
しかしそれは添加物の発がん性や遺伝子組み換え食品が
どんなものなのかという情報知らない人が多いからだ。
まずは生活クラブの理念や文化を理解して組合員になりたいと
自発的に思い、消費材を食べたいと思うことが大切だと思う。



3-1-2 若年層が解決するために

(2)既に組合員である若年層はどうすればいいのか
→社会的健康と精神的健康も目指そう

自己責任論からの脱却
おたがいさま精神

+

自分が生活している場所に興味を持つ
お任せからの脱却

現代の日本の若年層は孤立化が進んでいる。まずは「**おたがいさま**」という精神を持ち人と関わることで、助ける主体に自分になることが自分自身の社会的健康に繋がると思う。

自分の生きがいは自分を知らなければ見つからない。「誰かがやってくれるから」ではなくて**自主的に**自由な発想で自分たちが様々なことにチャレンジすることが生きがいの発見に繋がると思う。



ご清聴ありがとうございました



生活クラブ埼玉の皆さん
ありがとうございました。

参考文献

女性ヘルスケアニュース

<https://womanslabo.com/news-20170405-1>

2020年3月25日取得

東洋経済on-line

<https://toyokeizai.net/articles/-/222178>

同日取得



生活クラブから考える 社会問題

～食をテーマに～

山崎秀真

はじめに

生活クラブは、暮らしに必要なモノ、サービスを組合員が自ら出資、利用、運営し作り出す組織。

生活クラブは、社会の問題だと思ったことに対して実践的な運動をしてきた。

- 生活に必要な材を作る運動→消費財など
- 生活に必要な社会的機能を作る運動→ワーカーズ、代理人運動
- 人と人との関係を豊かに作る運動→地域コミュニティの形成

生活クラブとの出会い

- はじめて生活クラブの人々と出会ったのは、大学2年次のゼミ合宿。
- 風車夢風の見学、現地生産者との出会い
→学祭で、現地(遊佐町)のお米を使った団子を販売
→生活クラブの甘酒、あんこ(団子のトッピング)の販売

しかし、自分が何をやっているのか、どんな意味があるのかあまり実感がなかった。

キャリアチャレンジの課程 1

- 共同購入事業の体験
→消費財の配達車の添乗員(千葉)

生活クラブの配達員が地域を回りつつ、何気ない世間話や、消費財の説明、おすすめるを行う。

その中で、生活クラブの卵と牛乳にこだわりを持つ組合員とお話できる機会があった。味は良く、国産であり生活クラブだからという安心感があるという。食に対するこだわりが伝わってきた。

キャリアチャレンジの課程 2

- 食べ物をテーマとした生活クラブグループの3年次研修
→日本の食を取り巻く状況、食品添加物など目に見えないものの表示等についての講義

近藤恵津子さんの講義を実験を交えながら聞く。特にコンビニおにぎりの実験からは、自分が知らないうちに食べている成分が多くあることがわかる。知らず知らずのうちに、多くの食品添加物を摂取していることを実感した。

社会の問題

GMO食品の社会問題

問題点

- 遺伝子組み換えによって、未知数の遺伝子をもつ食品が生まれる。→安全かどうか不明。
- 種子の価格が通常より高い。借金して種子を買い、返済する悪循環が生まれる。→農家への負担、企業による食品の独占
- 消費者側から見分けにくく、いつ口に入っているかわからない
→生理的な嫌悪感

生活クラブの取り組み

- 生活クラブでは、遺伝子組み換え食品を認めていない。
- 食の安全性、開示性にこだわり添加物、農薬、放射能検査に厳しい基準を持つ。
- 生産者と消費者が協力して持続的な生産を行っている。

一人では解決できないことを、組合員が少しずつ資本を出し合うことで問題の解決を目指している。

若者の参加

- 若者は、食品に対して非常に無頓着。かつ知らないことが多い。
- 若者が、遺伝子組み換え食品を問題だと認識する場が必要。
- 若者が、生活クラブを食品問題解決の道具として利用するには生活クラブに若者向けの制度が必要。
- 教育の普及、情報発信が必要。

「生活」クラブ

高井 彩名

社会の問題

既存の考え方にとらわれていることを実感しにくい

私と生活クラブ

- 人間環境セミナー
- キャリアチャレンジ
- 法政大学 学園祭
- さんとめどんぐり村 秋まつり (埼玉)
- 復興支援まつり (神奈川)

生活クラブの有意義な点

- 政治に触れる
- 人と関わる
- 自分の生き方に自覚を持つ

消費材の特徴

- できるだけ国産、自然のものを
- 不安なものは使わない
- 情報開示を徹底

牛乳を安く ⇔ 高くても安心なものを

共通点は現状への疑問

買うことは意思表示

- 買うことで生産者を支えることができる
- 買わないことで需要が減り、供給が減る

生活クラブの活動

- 食品などの共同購入 ・ 共済
- カタログ回収、瓶のリユースなど、3Rのシステムを構築
- 署名 ・ パブリックコメント
- 議員を輩出（代理人運動）
- 学習会 ・ 防災、福祉関係の訓練
- 子ども、高齢者に向けた施設 ・ 居場所づくり
- 復興支援 ・ 風車、ソーラーパネルの設置

etc...

生活クラブがより利用されるためには

- 消費材について
- デポーについて
- 学生にできることは？

消費材について

一部の消費材で小さめのサイズを展開するとよい
と思います

半分に切られたキャベツとか...

デポーについて

- デポーは共同購入事業の一部
- 消費材は組合員の選んだ生き方の表れである

と考えます

学生にできることは？

まずは、自身を取りまく環境について意見を交わせるような
雰囲気をつくること

親しい間柄の、話しやすい人から

高齢者の地域との関わり

人間環境学部 1年 山岸 弘奈

1) なぜ興味を持ったか

近年の傾向

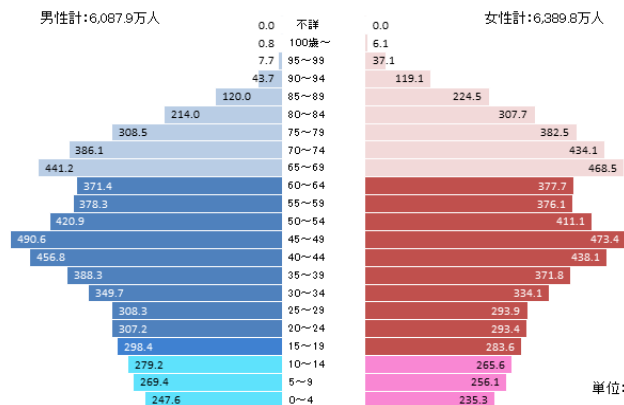
少子高齢化

ひとり暮らし高齢者



少子高齢化

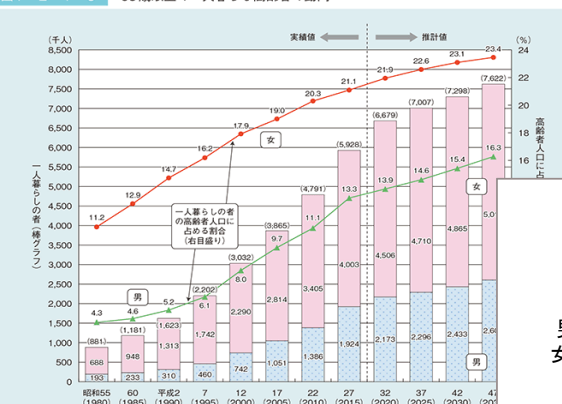
日本の2019年1月1日の人口構成(住民基本台帳ベース,総人口)



65歳以上の高齢者は
28.1%

高齢者の一人暮らし

図1-2-1-3 65歳以上の一人暮らし高齢者の動向



高齢者人口に占める一人暮らしの割合

昭和55 (1980) 年 平成27 (2015) 年

男性 4.3% 13.3%
女性 11.2% 21.1%

資料:平成27年までは総務省「国勢調査」、平成32年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(2013年1月推計)」
(注1)「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」又は「一般世帯(1人)」のことを指す。
(注2)棒グラフ上の()内は65歳以上の一人暮らし高齢者の男女計
(注3)四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

1) なぜ興味をもったか

→引きこもり、運動不足
認知症の進行

⇒社会・地域との関わりが減少（⇒孤独死？）
＝希薄化

私達はこのような問題をどう考えなければいけないのか？

2) 生活クラブの実践

10のThink & Act

9 お互いに助けあう社会をめざします と掲げ、地域で子育てや介護ができる仕組みをつくり様々なサービスを提供

①エコロ制度

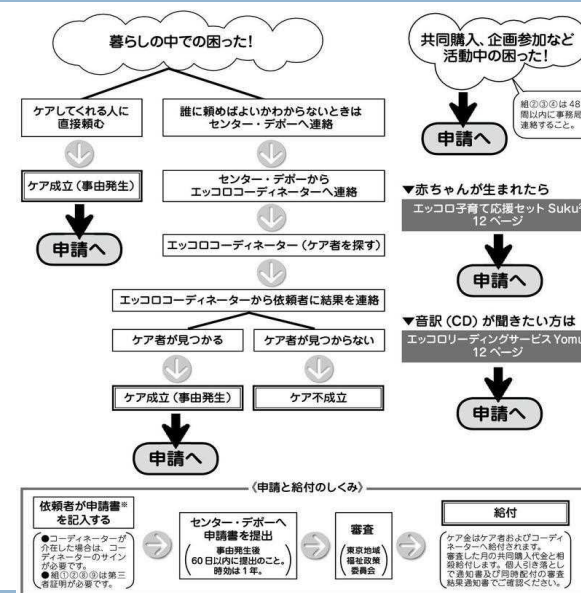


②丁寧な配達

③様々なイベント

①エコロ制度 メリット

- ・ 地域での助けあいの仕組みがつくられる
- ・ コーディネーターの存在
- ・ 高齢者と地域との関わりがうまれる(コミュニティ形成)



①エッコロ制度

デメリット

- ・ 加入者同士でしか活動することができない
- ・ 専門的知識を伴う分野のケアが難しい

②丁寧な配達

メリット

- ・ 組合員と配達職員とのつながりをうむ

ひとりひとり顔を合わせて配達

週1で同じ職員と会う

コースマネージャーニュース

ただの「職員」ではなく「組合員」の一人として接する

→安心感、コミュニケーションの場

②丁寧な配達

デメリット

- ・ 配達の時間が限られておりゆっくり話すことができない
- すぐに信頼関係を築き上げるのは難しい

- ・ 毎回留守の方とはあまりコミュニケーションがとれない
(コースマネージャーニュースのみ)

③様々なイベント

メリット

- ・ 組合員同士のつながりをうむ

色々な人と一緒に参加

⇒楽しめる、意見交換

新たなコミュニティ形成

- ・ 新規加入者を呼び込める

③様々なイベント

デメリット

- ・ イベントに参加してもらうことが難しい
- ・ 幅広い世代で楽しめる、学べるようなイベントが必要

3) 若年者層がどのようにしたら生活クラブをツールとして解決できるか

組合員でない若者

- ・ 生活クラブを知ってもらう
Instagram、HP、チラシ、Web広告、デポ、イベント
組合員による口コミ

より若い世代に向けて・・・
出張授業

3) 若年者層がどのようにしたら生活クラブをツールとして解決できるか 組合員である若者

- ・ エッコロ制度に加入してもらう
- ・ 地域の高齢化問題について知ってもらい、イベントに参加してもらう
- ・ 今の地域の現状について知れるイベントを開催
→Instagram、HP、チラシなどでの情報発信
⇒若者世代の参加が増加するのではないかな？

* 参考資料

・ 「グラフで見る!日本の2019年の人口ピラミット【出所】総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

<https://jp.gdfreak.com/public/detail/jpo100500000010000000/16> (2020.4.5)

・ 「1 高齢者の家族と世帯 | 平成29年版高齢社会白書(全体版) - 内閣府」

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/zenbun/s1_2_1.html (2020.4.5)

・ 「エコロたすけあい制度とは」

<https://tokyo.seikatsuclub.coop/index.html> (2020.4.9)

・ 「エコロガイドブック」

<https://tokyo.seikatsuclub.coop/excludes/tokyo/img/member/eccolo/eccoroguide1807.pdf> (2020.4.9)

* 引用画像

- ・ 生活クラブ埼玉 HPより
- ・ 生活協同組合エスコープ大阪(生活クラブ) HPより